市の伝統文化 伝承は

清流の会

近藤吉一郎　津本憲一　田口浩二

文化

問　市内に無形文化財は多く存在しているが、伝承の担い手問題、保存問題等伝承に多くの問題点を抱えている。市はこの問題点にどのような携わりをしているのか。

答　獅子舞や花祭りなどの民俗文化財、和紙製作の伝統技術者がおり、県、市指定文化財として保存伝承されている。これまで文化庁の補助事業で、記録映像制作にも取り組んできた。新しい津山市史の中でも伝統文化や民俗の資料調査を実施する予定で記録保存・伝承に努める。

まちづくり

問　城下まちづくりについて中心市街地活性化協議会は平成27年8月28日に津山市に提言、津山市はどう進めていくのか。

答　本提案を踏まえ、新ホテル事業を基本計画に追加し、平成28年3月に国の認定を得て、調査・研究を進めている。協議会においても平成28年8月にワーキンググループを再設置し、29年度に実行計画をとりまとめる予定。協議会の提言などを参考にし、本市の考え方を固めていきたい。

問　新ホテルが完成し、まちの魅力向上につながる商業機能の充実の提案をしているが、市はどのような政策を考えているのか。

答　商業機能の充実は、国の地域・まちなか商業活性化支援事業をはじめ本市の空き店舗等対策事業を中心に進め、中心市街地は、専門家等の協力を得て調査・研究し、国の施策を活用し事業化に至った事もある。

【その他の質問項目】

◆教育現場について

津山まつりの様子（徳守神社）

市長の施政方針

政岡哲弘

財政

問　予算要求におけるマイナスシーリング（※）の考え方と、宮地市長就任以降の経緯は。

答　平成29年度の予算編成は、見込まれる財源不足を踏まえ、一般財源ベースでマイナス10％シーリングを設定した。当初予算編成でマイナスシーリングを設定したのは平成24年度からで、一定の経費において、マイナス5％からマイナス30％シーリングを設定した経緯がある。

人口減少対策

問　市長が施政方針でも述べ、最重要課題と位置付けられた人口減少歯止め策として、例えば教育に特化するなど、積極的な施策実施が必要なのでは。

答　子育て支援、強い地場産業創出、働く場の確保、移住・定住の促進など、地方創生への施策に取り組みたい。

希望を持てる市政運営を期待

【その他の質問項目】

◆これはというような特化した施策実施の必要性

※マイナスシーリング・・・各部局が予算要求する場合に、前年度予算に対して一定の率を減じたものを総枠として設定し、その枠内での予算要求を求めるもの。

わが市の発展のために

市政会
岡田康弘

政治姿勢

問　市長に外交をやってほしいと思って、国や県、近隣市町村との関係を良好なものとし、わが市の発展につなげてもらいたいとの思いであるがどうか。

答　国や県とのパイプも必要で私自身のネットワークもあるが自治体トップのやる気など、積極的な取り組みが必要である。本市のまちづくりに力一杯取り組んでいきたい。

問　議場では、県、近隣町村との連携は重要だと言い、ある町内会の挨拶では「働きかけはしなくても予算はついてくる」と発言している。この挨拶を聞いた方は津山の将来が心配だと言っておられたがどう思うか。

答　言った記憶はない。地方創生交付金は満額ついてくると言ったのでそのことではないか。

積極的な外交活動を

【その他の質問項目】

◆予算編成・財政運営と市長の政治姿勢

パブリックコメントのあり方は

津山新星会議
小椋　多

パブリックコメント

問　第2期教育振興基本計画パブリックコメントの件数は。

答　3名の方から、21件の意見をいただいている。

問　教育委員会として、この人数と意見数は、必要かつ十分と考えるか。

答　実施結果であり、件数や人数が目的ではない。丁寧に検討し、適切に対応している。

問　余りにも少なすぎると感じるのは私だけだろうか。これで本当に市長の標榜（ひょうぼう）（※）する市民目線に立った、市民のための計画となるのか。今や行政の免罪符となった感のあるパブリックコメントについて、執行部はどのように考えるか。

答　実施する施策について、市民皆さんの理解を深め、意見を取り入れ、より良い施策として実施していきたい。

【その他の質問項目】

◆教育行政

◆危機管理体制

津山駅南北自由通路の建設の目的は

緑風会
金田稔久

まちづくり

問　地域振興について一体的な政策一辺倒でなく、地域に合わせた施策を。

答　全市一律の振興策でなく、地域特性を活かし、個性ある地域づくりを考えていきたい。

津山駅周辺整備

問　南北自由通路の建設目的、概要、財源は。

答　鉄道により分断された駅南地区に駅南口広場、南口駐車場を整備し、駅機能強化、利便性向上・促進を図り、人・物の交流拠点として駅南地区のまちづくりを進めたい。建設概要は、延長約60m、幅員約4mの規模を考えており、南北自由通路約11億円、駅南口広場約7億円、駅南口駐車場約2億円、概算約20億円を合併特例債、社会資本整備交付金などを財源として考えている。

供用開始した津山駅前

【その他の質問項目】

◆地域商社機能構築調査事業

◆東京オリンピック、パラリンピックへの取り組み

※標榜（ひょうぼう）・・・主義・主張などをはっきりと掲げ示すこと。